

いずみのひろば

2015年 7月号
日本基督教団 堺教会
No.438 教会学校

「まことの神殿」

ヨハネによる福音書 2:13-22

イエス様がお弟子さんたちと、過越祭という

とても大事なお祭りがあるので、エルサレム

へ行かれた時のお話です。

神殿には祭りのために、いろんなお店が出て

いました。礼拝でささげるための羊やほとを

売っていたり、敵金のためにお金を両替したり

いろんな人が神殿で商売をしていました。

それを見たイエス様は怒りました。

ムチを作り両替人たちや商売人たちをみんな

おい出したのです。「わたしの父の家を商売

の家としてはなりません」と言われたのです。

商売をするのをゆるしていたユダヤ人たちは怒

って、「どうしてあなたはそんなにえらそうにするのか」とイエス様に言いました。

するとイエス様は「この神殿をこわしてみなさい

三日で建て直してみせる。」と言われました。

この神殿は四十六年もかかって建てられました。それを

三日で建て直すと言っているのです。聞いた人たちは

意味がわかりませんでした。それはイエス様が十字架

で死なれたあと、三日目に復活されたことを言っ

ておられるのです。ご自分のからだのことを新しく

神殿とこわされたのです。

イエス様は神殿を本堂に

神様を礼拝する場所に

したかったのです。そして

ささげものがなくても

だれでも、いつでも、神様の前に集まることか

できて、礼拝でキてるように、イエス様は十字架架

におかかりになりました。イエス様によって神様

とわたしたちはつながっているのです。



(おほなし 中野 康彦先生)